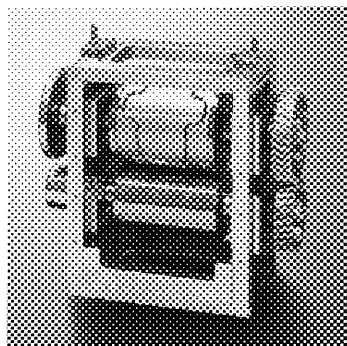


# ダイカッター 寿命3倍

日本タングステン  
超硬合金素材を開発



【福岡】日本タングステン断加工に用いるロータリーカッター「NTダイカッター」を開発し、4月以降に本格的に提供を始め

「写真」の製品寿命を、従来品比3倍以上に延ばす超硬合金素材を開発した。顧客先での1年間ほどの試

存のダイカッターにも超硬合金を用いるが、製造法のほか、炭化物の種類と割合など原料面を改良した。

耐久性を高めたとどで再研磨の間隔を長くするほか、トータル製品の寿命も長期化できると見込む。

ダイカッターは円柱状で曲面に型状の刃を持つ。ラインを流れる不織布などに対して高速回転しながら押し切る。耐久性向上のため、素材の強度とともに、切断時にかかる衝撃で破損しない硬さとのバランスを実現した。

刃は再研磨することにより一定回数利用でき、日本タングステンは1986年からダイカッターを製造する。国内外のおむつや生理用ナプキンといった衛生用品の製造ライン向けに納入している。

超硬合金は炭化タングステンをコバルトなど焼結した素材。既